



最新情報

- 2016/08/31 「図録・グッズ」ページをアップしました。
- 2016/08/26 東京展の出品目録（作品リスト、和・英）をアップしました。
- 2016/08/08 トップページにコマ撮り動画「じざいへび、にようニヨロ」をUPしました。
- 2016/08/08 「講演会・関連イベント」ページにギャラリートークの情報をUPしました。
- 2016/08/01 本展覧会の前売券を発売しました。一般1,000円、大学・高校生500円とそれぞれ当日券

「驚きの明治工藝」展のみどころ



驚きの明治工芸

日本語

細密、写実的な表現で近年人気の高い明治時代を中心とした日本の工芸作品。この「明治工芸」の一大コレクションが台湾にあることはあまり知られていません。しかもこれらの作品は、すべてひとりのコレクターが収集したもの。この「宋培安コレクション」から100件以上もの名品を、日本で初めてまとめて紹介します。

全長3メートルもある世界最大の龍の「自在置物」、「ビロード友禅」をはじめ、漆工、金工、彫刻など多彩な作品ひとつひとつが魅力を放つ、

すごい！びっくり！かわいい！
驚きがいっぱいの展覧会です。

出品目録

[出品目録（日本語）](#)[出品目録（英語）](#)

コマ撮り動画「じざいへび、にようニヨロ」

関節部分が自由自在に動く「自在置物」。展覧会の会場で実物が動くようすをご覧ください。これは困難です。そこで、今回の展覧会の出品作《自在蛇》（明珍宗春作、江戸時代）が動くようすを、東京藝術大学が「コマ撮り動画」の手法で動画化しました。

箱の中からはよろこぶと自由に動き出す「じざいへび」！「自在」の蛇はこんなにスムーズに動きます。



日本語

この《自在蛇》、東京展では2週間に一度程度の頻度で展示替えならぬ「ホウ」も予定しています。実物と見比べてお楽しみください。

【驚きの明治工藝展】「自在置物」のへびが動き出すコマ撮り動...



「自在置物」が20点以上登場！驚きの作品がいっぱいです。

[「写実の追求」詳細はこちら](#)



技巧を凝らす

どこまでやるの どこまでやるか

羽毛が驚く超絶技巧から、目にきらきらする
光る楕円の金輪を、脚先の光が光ります。

[「技巧を凝らす」詳細はこちら](#)



画面上部メイン画像： | (右上)《銀梅竹紋酒燗器》 加納夏雄 | (右中)《自在蛇》 宗義 | (右下)《色絵金彩
《蜆（しじみ）根付》 平井汲哉 | (左端)《自在龍》 | (左下)《狸置物》 大島如雲 |
明治工芸展のみどころ内画像： | (上)《自在龍》 宗義 | (右)《自在鯨（しゃち）》 | (左)《楓林キジバト
写実の追求内画像： | 《自在伊勢海老》 守由 | 技巧を凝らす内画像： | 《色絵金彩鴛鴦（おしどり）置物

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#) [利用規約](#) [web広告ガイド](#) [リンク](#) [個人情報](#) [著作権](#) [お問い合わせ・ヘルプ](#)

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。
Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.